page 2012 出展情報

ePower をつかむ

ピー・エス・シー――B-18

印刷・製本業 IT化を強力に支援

各種管理システムを提案

業態変革に向けての第一歩として、既存事業の足元を固めることが重要になってきている。情報戦略の面では業務プロセスの改善とセットでIT化を進めていくことが不可欠だ。

ピー・エス・シー株式会社（原田敏明社長、東京都足立区）は業界に精通した中小企業診断士やITコーディネータ等がヒアリングを行い、IT化診断の結果に基づいて業務管理システムを導入するやり方で業務改善を実現している。

同社は、製本業界に特化した「製本管理システム」を製本会社向けに100システム以上納入している。一口に製本業といっても書籍の上製本からパンフレットなどの商業印刷物に至るまでその品目は多岐にわたり、それぞれ製法や工程も異なる。印刷業向けの業務管理システムが数多く販売されている中、関連業界ながら製本業向けのシステムは非常に少ない。

同社は、20年にわたり「製本管理システム」に特化することにより、豊富なモジュール群を保有し、事業規模や取扱品目など個々の企業の実態に即した業務管理システムの導入を実現している。さらに、製本業が印刷から一括受注するケースにも対応すべく「印刷管理システム」にも進出している。同社の「印刷管理システム」は、プリプレスから印刷、製本に至るまでの全工程をカバーしている。

他社の「印刷管理システム」と一線を画しているのは、製本・後加工の工程管理をしっかりとカバーしている点だ。製本管理のノウハウが「印刷管理システム」にすべて組み込まれているのだ。

あらゆる品目の製本業向けや、印刷・製本一括受注の企業向けの工程・進捗管理、印刷・製本の外注管理などに対応するバージョンを揃え、短期間でカスタマイズし、本稼働に移行するノウハウを確立している。

同社の原田社長は「印刷・製本業においても、生き残りのために既存事業の維持・拡大の模索だけでなく新規事業や新規製品、新規販売チャネル開拓等にチャレンジする業態変革志向がますます重要になってきている」と話す。

「次の一手を打つタイミングを逸しないため、経営情報を〝見える化〟して、現状をリアルタイムで把握することが必要だ。印刷物の需要は低減しているが、事業所数も減少しており、減少率によっては生き残った企業の売上額が増大することとなる」と、身の丈にあったIT化の重要性を訴え、page2012で提案する。